

- 築約100年の古民家を改修し、ゲストハウス、地産地消レストランとして運営。施設は地元町民との交流の場としても活用。
- 地元料理人を雇用し地産地消レストランとして運営。また農泊事業を担う研修生を育成。
- 酪農・畜産体験、畑作や漁業体験、ネイチャーウォッチングや食品加工体験など多彩な体験プランを商品化し、インバウンドを中心とした多くの観光客が訪れる町を目指す。

北海道八雲町



【採 択 年 度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～令和元年度

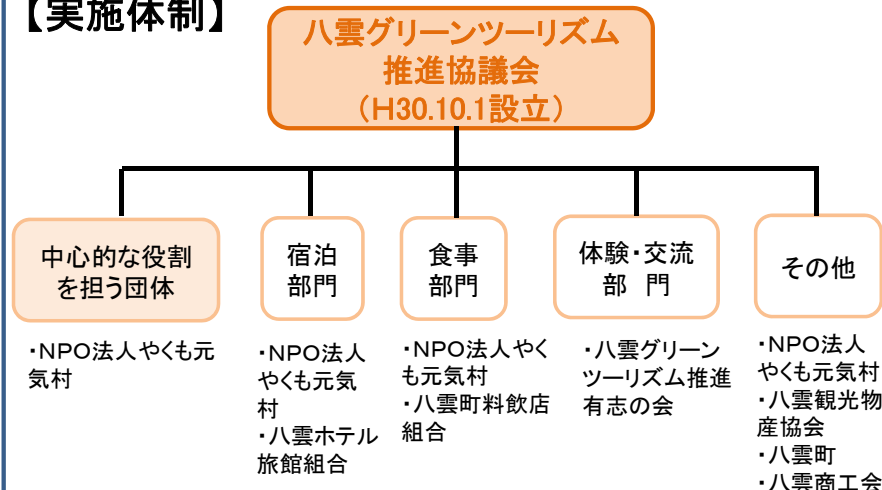


改装前の古民家



改装後の古民家

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 新規ビジネスモデルの構築（障がい者の活用による農泊と農福連携のコラボレーションモデル事業）
- 農産物加工品等の商品開発、販路開拓、情報発信（プロモーションと販売チャネルの多様化）
- 地元の農林漁業者と連携し、普段の第一次産業の仕事を体験できる新たな商品開発
- 地元で自然や歴史に詳しい人物を活用し、ガイドとしてのツアー開発



畜産体験（子牛のミルクやり）



農業体験（カブの収穫）

【事業概要】

- 1年目：古民家を改修、農泊受入体制づくり
→レストランとゲストハウスの運営スタート
- 2年目：商品開発と販売を促進するなど事業を加速
→HPの構築、情報発信の強化、販路の拡大

【体制整備】

- ・地域協議会を平成30年10月1日に設立

【人材育成】

- ・商品開発や体験プログラムのコーディネーターとして育成

【普及活動】

- ・HP、SNSなどによる情報発信
- ・旅行業者等との提携による販路拡大
- ・旅行博等のイベントに参加し集客を図る

【施設整備】

- ・古民家をリノベーションし、地場産の食材を扱う地産地消レストラン及び、観光客が気軽に滞在し、交流できる古民家ゲストハウスを整備。

インバウンド対応状況（青：対応）

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約